

令和4年度

3年次

シラバス

学習指導計画

滋賀県立瀬田工業高等学校 定時制課程

	4	6			
	5	8			
	6	8)
	7	4			
	9	8			
	10	8			
	11	8			
	12	4			(
	1	6)
	2	6			
	3	4			

--	--

--	--

	2	314	

4	6	1			
		1			
5	8				
		2			
6	9				
		3			
7	5				
9	7				
10	8	2			
		1			
11	9				
		2			
12	5		pH		
1	8				
		3			
2	5				

--	--

--	--

令和4年度 学習指導計画

教 科	科 目	学 年	単位数	学 期
保健体育	体育	3	3	通年

使用教科書	保体305 大修館 最新高等保健体育 改訂版			
副教材等	なし	授業形態	()座学中心 (○)実習中心 ()座学・実習併用	
学習の達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう自ら進んで運動し、公正・協力・責任などの態度を身につけさせるとともに、健康・安全に留意して運動できる資質や態度を育成する。 ・心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質や能力を育成する。 			

	月	学 習 項 目	学 習 内 容	課題・提出物等	考 査
前 期	4	3 体育理論	スポーツの歴史、文化的特性について学ぶ。	毎時間、学習プリントを提出する。	なし
		6 体づくり運動	体ほぐしの運動		
	5	6 陸上競技	短距離走・投てき		
		6 器械運動	マット運動・跳び箱運動		
	6	21 選 ・球技（ゴール型） ・球技（ネット型） 択 ・ダンス	バスケットボール バドミントン 現代的なリズムのダンス		
	7	3 体育理論	オリンピックについて学ぶ。		
	9	6 体づくり運動	体力を高める運動		
後 期	10	29 選 ・球技（ネット型） ・球技（ネット型） ・球技（ゴール型） 選 ・武道	バレーボール テニス サッカー 柔道	毎時間、学習プリントを提出する。	なし
	11				
	12				
	1	3 体育理論	現代スポーツについて学ぶ。		
		7 球技（ゴール型）	サッカー		
	2	15 球技（ネット型）	卓球		
授業を受けるに当たって守ってほしい事項		<ul style="list-style-type: none"> ・授業の最初と最後に点呼をするため、決められた場所に整列してください。 ・体育実技は、安全に配慮して実施します。楽しく運動に取り組める環境づくりをするので指示に従うこと。 			
確かな学力を身につけるためのアドバイス		体育実技の基礎・基本は、運動に親しみ、仲間と楽しく体を動かす喜びを感じてもらえる場づくりをします。技術の向上は、運動が楽しいと思えるかどうかにかかっています。ルールとマナーを守り、安全・安心・楽しい体育の授業となるようみなさんでいい雰囲気を作りましょう。			

備 考	
-----	--

令和4年度 学習評価規準・評価方法

目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成する。
----	---

技能・知識	<p>運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。</p> <p>①運動の特性に応じた技能を、練習や競技を通して身につけている。 ②自分の課題に応じた練習や競技を行い、技能を高めることができる。 ③運動の学習や進め方を理解している。 ④競技のルールや審判の方法を理解している。</p>	具体的評価	十分満足できると判断（程度高）	5
			十分満足できると判断	4
			おおむね満足できると判断	3
			努力を要すると判断	2
			一層努力を要すると判断	1
思考・判断・表現	<p>生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他人に伝える力を養う。</p> <p>自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して、活動の仕方を考え、工夫している。</p> <p>①能力に適した課題を設定して取り組んでいる。 ②課題解決のための効果的な練習を設定し取り組んでいる。 ③個々の技術に対し、理想のイメージを作ることができる。</p> <p>自分が考えていることを、仲間にことばや動作で伝えたり、仲間の考えていることを聴き、理解しようとしている。</p> <p>①自分の考えを表現できる。 ②仲間の考えを聴くことができる。</p>	具体的評価	十分満足できると判断（程度高）	5
			十分満足できると判断	4
			おおむね満足できると判断	3
			努力を要すると判断	2
			一層努力を要すると判断	1
主体的に学習に取り組む態度	<p>運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</p> <p>①自ら進んで運動に取り組んでいる。 ②仲間と協力して取り組んでいる。 ③指示を守り安全に注意して取り組んでいる。</p>	具体的評価	十分満足できると判断（程度高）	5
			十分満足できると判断	4
			おおむね満足できると判断	3
			努力を要すると判断	2
			一層努力を要すると判断	1

	10		↓			
	11					
	12					

--	--

令和4年度 学習指導計画

教 科	科 目	学 年	単位数	学 期
職 業	職業一般	3	2	通年

使用教科書	自作教材			
副教材等	なし	授 業 形 態	() 座学中心 () 実習中心 (○) 座学・実習併用	
学 習 の 達成目標	実務による勤労体験を積極的に評価することにより、働きながら学ぶ定時制生徒の学習負担軽減と就労意欲の高揚をはかり、併せて望ましい勤労観と職業観の育成をめざす。			

学 期	月	時 数	学 習 項 目	学 習 内 容	課 題 ・ 提 出 物 等	考 査
前 期	4	8	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職業一般について ・ 年間指導計画 ・ 自己目標など 	所定のレポート用紙にて提出	考 査 は 実 施 し な い
	5	8	講義①「履歴書について、書き方」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就職について、必要な履歴書の書き方を身につけさせる。 ・ 講義①についてレポートをまとめる。 	所定のレポート用紙にて提出	
	6	8	演習「レポート①」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 面接での印象の大切さ。また服装や言葉遣い髪型などについても理解させる。 ・ 講義②についてレポートをまとめる。 	所定のレポート用紙にて提出	
	7	6	演習「レポート②」 職場訪問①		<ul style="list-style-type: none"> ・ VTRを視聴することによって、より理解を深める。 ・ 講義③についてレポートをまとめる。 ・ 職場での勤務状況について（雇用主との懇談、実務見学等） 	
	9	5	講義③「社会人に必要な基礎的なマナーのVTRの視聴」 演習「レポート③」 職場訪問①			
後 期	10	7	講義④「社会人にふさわしい服装と身だしなみ」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職場に応じた服装や身だしなみの必要性について理解させる。 ・ 講義④についてレポートをまとめる。 	所定のレポート用紙にて提出	考 査 は 実 施 し な い
	11	8	演習「レポート④」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 挨拶の大切さについて理解させる。また社会人としてふさわしい言葉遣いについても理解させる。 ・ 講義⑤についてレポートをまとめる。 	所定のレポート用紙にて提出	
	12	6	演習「レポート⑤」		<ul style="list-style-type: none"> ・ 職場にはそれぞれマナーというものが存在し、それを理解したうえで仕事をする事の大切さを理解させる。 ・ 講義⑥についてレポートをまとめる。 ・ 職場での勤務状況について（雇用主との懇談、実務見学、評価の依頼等） 	
	1	6	講義⑥「社内でのマナー」 演習「レポート⑥」			
	2	6	職場訪問②			
	3	2	まとめ			
	授業を受けるに当たって守ってほしい事項			各テーマのねらいをしっかりと理解し、勤労を通して多くのことを学んでほしい。		
確かな学力を身につけるためのアドバイス			何事も実践から学ぶことが多い。壁にぶつかったときはいろいろな人の考えを参考にして、自分の考えをまとめていこう。			

備 考	
-----	--

令和4年度 学習評価規準・評価方法

目 標	実務による勤労体験を積極的に評価することにより、働きながら学ぶ定時制生徒の学習負担軽減と就労意欲の高揚をはかり、併せて望ましい勤労観と職業観の育成をめざす。
--------	--

関 心 ・ 意 欲 ・ 態 度	働くということにおいて関心を持ち、その充実・向上を目指して意欲的に取り組むとともに、課題を見つけ、その解決を目指して思考を深め工夫し創造する能力を身につけている。	具 体 的 評 価	取組姿勢
			レポート
思 考 ・ 判 断 ・ 表 現	将来自分が就きたい職業に従事するには、どのようにすればよいかということに意欲的に取り組み、実践的な態度を身につけている。	具 体 的 評 価	取組姿勢
			レポート
技 能	職業全般に関する基礎的・基本的な知識を身につけている。	具 体 的 評 価	取組姿勢
			レポート
知 識 ・ 理 解	職業全般に関する基礎的・基本的な知識を身につけている。	具 体 的 評 価	取組姿勢
			レポート

令和4年度 学習指導計画

教 科	科 目	学 年	単位数	学 期
工業	課題研究	3	4	通年

使用教科書	なし			
副教材等	なし	授 業 形 態	() 座学中心 (○) 実習中心 () 座学・実習併用	
学 習 の 達成目標	工業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。			

学 期	月	時 数	学 習 項 目	学 習 内 容	課 題 ・ 提 出 物 等	考 査
前 期	4	6	1 オリエンテーション	1 課題研究において学習するスタイルやテーマについてのオリエンテーション 2 個人またはグループごとにテーマの設定 3 個人またはグループごとに計画・実行 4 個人またはグループごとに取り組む テーマ例 【機械類型】 ① 溶接を利用したものづくり ② 旋盤・フライス盤・マシニングセンタを利用したものづくり ③ 砂型鋳造法による作品製作 など 【電気類型】 ① 様々な資格取得に向けた取り組み ② シーケンス技術（無接点リレー） ③ 電子情報技術 ④ 電気工事（ものづくり大会へ向けて） など 5 前期の取り組みを振り返り、今後の課題と計画調整をおこなう。	その日一日の取り組み状況等の報告書を毎回必ず提出すること。	
	5	12	2 テーマの設定			
	6	12	3 計画・実行 4 ・製作 ・調査 ・研究 ・実験			
	7	12	5 前期中間まとめ			
	9	12				
後 期	10	12	6 ・製作 ・調査 ・研究 ・実験	6 個人またはグループごとに取り組む。	その日一日の取り組み状況等の報告書を毎回必ず提出すること。	
	11	12				
	12	6	7 資料製作（まとめ）	7 ここまでの取り組みの成果などをまとめ、発表用資料の作成をおこなう。		
	1	9				
	2	9				
	3	3				
授業を受けるに当たって守ってほしい事項			実習服・実習靴・実習帽は必ず着用のこと。また、安全に関わる諸注意は厳守してください。レポートやノートの整理が有りますので、教科書、筆記具を用意すること。			
確かな学力を身につけるためのアドバイス			1・2年生で学んだ基礎・基本を大事にし、教師の指導に対して常に関心を持って取り組むこと。			

備 考	欠席した場合、追実習等を行う。日程についてはその都度連絡をする。 レポートの未提出は認められないので、必ず提出すること。
-----	---

令和4年度 学習評価規準・評価方法

目標	工業（機械・電気）に関する基礎的技術を実習・実験によって体験させ、機械類型・電気類型における技術への興味・関心を高め、工業の意義や役割を理解させるとともに、機械類型・電気類型に関する広い視野を養い、工業の発展を図る意欲的な態度を育てる。
----	--

関心・意欲・態度	機械類型・電気類型に関する基礎的技術について関心を持ち、その改善・向上を目指して意図的に取り組むとともに、社会の発展を図る創造的、実践的な態度を身につけている。	具体的評価	取組姿勢
			レポート内容
			出欠
思考・判断・表現	機械類型・電気類型に関して広い視野から自ら考え、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身につけ、その成果を的確に表現する。	具体的評価	取組姿勢
			レポート内容
技能	機械類型・電気類型に関する基礎的な技術を身につけ、安全や環境に配慮し、実際に仕事を合理的に計画し、適切に処理する。	具体的評価	取組姿勢
			服装
			作品完成頻度
知識・理解	機械類型・電気類型に関する基礎的な知識を身につけ、工業の発展と環境との調和の取れた在り方や現代社会における工業の意義や役割を理解している。	具体的評価	レポート（考察）

令和4年度 学習指導計画

教 科	科 目	学 年	単位数	学 期
工業	通信技術	3	2	通年

使用教科書	通信技術（実教出版）			
副教材等	なし	授 業 形 態	(○) 座学中心 () 実習中心 () 座学・実習併用	
学 習 の 達成目標	通信技術に関する基礎的な知識と技術を習得させ、実際に活用する能力を育てる。			

学 期	月	時 数	学 習 項 目	学 習 内 容	課 題 ・ 提 出 物 等	考 査	
前 期	4	5	有線通信 ・ 電話機 ・ 通信の多重方式	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電話機(ダイヤル式、押しボタン式、電子式など)の原理と基本的な構成などについて学ぶ。 ・ 交換機において、多数の通話を同時に行う場合の伝送方式について学ぶ。 	定期考査ごとに ノートファイルを提出	前 期 中 間 考 査	
	5	6					
	6	8	無線通信 ・ 電波とアンテナ				<ul style="list-style-type: none"> ・ 無線通信に使われている電波の発生と伝わり方空間の電波をとらえるアンテナについて学ぶ。
	7	6					
後 期	9	7				前 期 期 末 考 査	
	10	7	有線通信 ・ 光通信 ・ 有線通信に関する法規	<ul style="list-style-type: none"> ・ 光通信の光の発生、検出および通信方式について学ぶ。 ・ 有線機器は定められた法令について学ぶ。 (電気通信事業法、有線電機通信法など) 	定期考査ごとに ノートファイルを提出	後 期 中 間 考 査	
	11	8					
	12	6	無線通信 ・ 無線通信システム ・ 無線通信、おもな無線機器				<ul style="list-style-type: none"> ・ 変調、復調の利用。AM、FM、SSB送受信機などの具体的な機器の構成について学ぶ。
	1	6					
2	7	通信関連法規	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通信と法規・電気通信事業に関する法規 電波を利用するときに適用される法令について学ぶ。 				
	3	4				後 期 期 末 考 査	
授業を受けるに当たって 守ってほしい事項			積み重ねの学習なので、各単元しっかりと復習をすること。 計算問題が数多くあるので、関数電卓を持参すること。				
確かな学力を身につける ためのアドバイス			分からないところをそのままにしておかず、必ず聞くこと。				

備 考	
-----	--

令和4年度 学習評価規準・評価方法

目標	通信技術に関する基礎的な知識と技術を習得させ、実際に活用する能力を育てる。
----	---------------------------------------

関心・意欲・態度	通信技術に関する基礎的な知識と技術について関心を持ち、その改善・向上を目指して意図的に取り組むとともに、社会の発展を図る創造的、実践的な態度を身に付けている。	具体的評価	<table border="1"> <tr><td>取り組み姿勢</td></tr> <tr><td>ノートファイルの整理内容</td></tr> <tr><td>出席状況</td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> </table>	取り組み姿勢	ノートファイルの整理内容	出席状況		
取り組み姿勢								
ノートファイルの整理内容								
出席状況								
思考・判断・表現	通信技術に関する諸問題の適切な解決を目指して広い視野から自ら考え、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けるとともにその成果を的確に表現する。	具体的評価	<table border="1"> <tr><td>取り組み姿勢</td></tr> <tr><td>ノートファイルの整理内容</td></tr> <tr><td>定期考査</td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> </table>	取り組み姿勢	ノートファイルの整理内容	定期考査		
取り組み姿勢								
ノートファイルの整理内容								
定期考査								
技能	通信技術に関する基礎的な技術を身に付け、安全や環境に配慮し、実際の仕事を合理的に計画し、適切に処理する。	具体的評価	<table border="1"> <tr><td>取り組み姿勢</td></tr> <tr><td>定期考査</td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> </table>	取り組み姿勢	定期考査			
取り組み姿勢								
定期考査								
知識・理解	通信技術に関する基礎的な知識を身に付け、通信技術の発展と環境との調和の取れた在り方や現代社会における通信の意義や役割を理解している。	具体的評価	<table border="1"> <tr><td>ノートファイルの整理内容</td></tr> <tr><td>定期考査</td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> </table>	ノートファイルの整理内容	定期考査			
ノートファイルの整理内容								
定期考査								

--	--

	JIS	